

【第2次札幌新まちづくり計画 平成20年度進行管理評価結果】

『政策目標5 文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街』

重点課題1 札幌の特色を活かした文化芸術の振興

< 施策の基本方針 >

豊かな自然、冷涼な気候、情報に鋭敏な感性、進取の気風からはぐまれる札幌の特色を活かして、多様な文化芸術を享受できるまちづくりを目指し、市民が街のいたるところでさまざまな文化芸術を楽しみながら実践し、表現・発信できる環境づくりを行います。また、市民や企業、NPOなどのさまざまな文化芸術活動や相互の交流を促進するとともに、札幌の文化芸術の魅力を国内外に積極的に発信していきます。さらに、地域の優れた自然、文化、史跡などの文化遺産の保存と活用を推進するとともに、先住民族文化への市民理解の促進を図ります。

事業費の進捗率

(H19決算額 + H20予算額) 1,080,477千円 / (計画事業費) 1,985,300千円 : 54.4%

施策別の主な取組内容

19年度(実績)

【施策1】多様な文化芸術に親しみ、交流・発信する環境づくり
 ・サッポロ・シティ・ジャズ：市民等のアマチュアにも参加資格があるパークジャズライブに対して補助。
 ・創成川アートワーク事業：アートワーク基本計画策定のため、制作を委嘱する作家の選考と作家から提案された作品内容を検討。
 ・厚生年金会館存続の検討：札幌・北海道・札幌市の三者により存続検討会議等を実施し、札幌市として入札への参加を決定。
 ・芸術文化情報発信事業：10月に観光文化情報ステーションをオープンし、ホームページの運用を開始。
 【施策2】市民が自ら作り上げる文化活動の振興
 ・佐藤忠良関連施設整備：施設の建設に向け、設計や購入作品の選定などの諸準備を実施。
 【施策3】文化遺産の保存・活用と伝統文化、先住民族文化の継承
 ・公文書館整備基本構想策定：公文書館設置に向けて、有識者を講師とした研修会を実施。
 ・文化財施設維持保存事業：豊平館の外壁塗装工事や損壊した八窓庵の復旧工事を実施。

20年度(予定)

【施策1】多様な文化芸術に親しみ、交流・発信する環境づくり
 ・サッポロ・シティ・ジャズ：パークジャズライブのほか、国際交流事業やワークショップに対して補助を行う。
 ・(仮称)SAPPOROアート&コミュニティセンター整備事業：旧曙小学校跡施設活用計画に基づき、校舎の一部解体を行うほか、管理運営団体の募集に係る素案づくりを行う。
 【施策2】市民が自ら作り上げる文化活動の振興
 ・佐藤忠良関連施設整備：今年度中のオープンに向け、施設工事、作品購入などの諸準備を行う。
 ・子どもの美術体験事業：市内小学5年生を芸術の森に招待したり、小学校にアーティストを派遣し、共に作品を制作するなど、子どもたちの芸術的感性を育む。
 【施策3】文化遺産の保存・活用と伝統文化、先住民族文化の継承
 ・文化財施設維持保存事業：八窓庵の復旧工事を行うとともに、琴似屯田兵村兵屋跡の保全改修計画を策定する。

市民・企業等との協働の状況

市民との連携、市民参加
 ・札幌市文化芸術振興条例に基づく基本計画策定：基本計画検討委員会の委員9名中、3名を市民からの公募委員とするとともに、文化芸術活動に携わる方々(延べ42名)との懇話会を実施した(6回)。
 企業等との連携・協働
 ・パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業費補助：グランドパートナーをはじめとしたメセナ企業からの協賛金や寄附金などによりレベルの高い事業を維持している。
 市民・企業等が参加しやすい環境づくり
 ・サッポロ・シティ・ジャズ：専用ホームページのほか、芸術の森ホームページや民間のブログ等により情報の提供を行っている。
 ・芸術文化情報発信事業：ホームページは文化芸術活動を中心に事業主催者自ら情報を登録し、広報している。

評価(成果)と課題

【施策1】多様な文化芸術に親しみ、交流・発信する環境づくり
 ・PMFやさっぽろアートステージ事業などの既存事業のみならず、サッポロ・シティ・ジャズなどの新たな事業を展開することにより、市民が様々な文化芸術に親しむ環境づくりが進み、集客交流を促進する機会を創出することができた。
 人的・物的資源に限られている中で、各事業者の効率的な事業運営や、事業自体の魅力アップ、効果的な情報発信を行うことにより、市民への定着と、集客交流につなげていく必要がある。
 【施策2】市民自ら作り上げる文化活動の振興
 ・既存施設を有効活用した学校開放事業などにより、市民の様々な文化活動を支援できた。また、佐藤忠良関連施設整備については、新築工事に向けた準備を行うなど当初の計画通り実施できた。さらにKitaraファーストコンサートでは、演奏する曲目に小学校の授業で習うものを取り入れるなど、子どもたちに対してクラシック音楽をより身近に感じさせることができた。
 青少年に対する事業については、興味や関心を高めていくために、継続的に内容の充実を図る必要がある。また、発表の場などの提供については、利用者拡大のための広報活動や利用者の声を活かした制度構築が必要である。
 【施策3】文化遺産の保存・活用と伝統文化、先住民族文化の継承
 ・文化財施設の保存改修等を順次行うことができた。また、公文書館整備基本構想策定に向けた具体的な検討を行うことができた。
 未着手となっている文化財保存修理工事や保存改修計画の策定を早期に行うとともに、伝統文化の保存・伝承について、広く市民に周知を図り、その機運を一層高めていく必要がある。また公文書館については、収集基準をはじめ、施設運営のより具体的な検討を行う必要がある。

今後の重点取組

それぞれの事業が、観光、経済の振興や集客交流にも寄与できるものに成長していくために、今後ともより一層、文化芸術の振興に取組んでいくこととする。
 具体的には、事業の魅力アップを図り、積極的な情報発信を行うほか、行政・企業・市民がそれぞれの役割分担のもとに連携し、事業を効率的・効果的に実施していく。

主な達成目標の状況

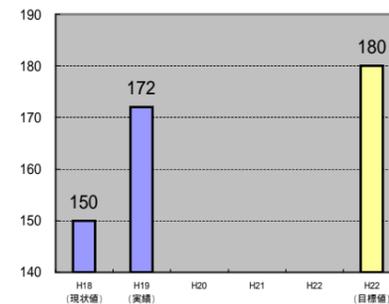
達成目標名	目標値(目標年度)	H18(現状)	H19(実績)
サッポロシティジャズ観客数	100,000人(H22)	4,000人	73,824人
PMFオーディション応募者数	1,468人(H22)	1,348人	1,374人
札幌交響楽団公演観客数	135,000人(H22)	131,464人	116,013人
さっぽろアートステージ鑑賞者数	360,000人(H22)	341,898人	371,995人
芸術の森週末施設利用率(野外ステージ)	60.0%(H22)	57.4%	52.1%
北海道厚生年金会館の存続	存続(H22)	-	存続に向けた検討
観光文化情報ステーション来場者数	100,000人(H22)	12,000人	26,964人
観光文化情報ステーションホームページアクセス数	200,000回(H22)	-	40,169回
札幌市文化芸術基本計画策定	策定(H20)	-	策定中
舞台芸術創作活動支援事業補助金申請団体数	21団体(H22)	11団体	20団体
Kitaraファーストコンサート学校参加率	95.0%以上(H22)	94.2%	92.3%
都市景観重要建築物等の指定件数(累計)	30件(H22)	18件	23件
伝統文化保存伝承事業補助対象活動数	2件(H22)	2件	2件

主な施設・サービスの整備水準

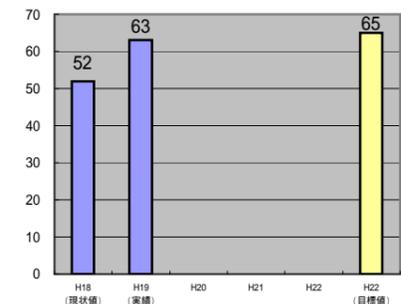
施設(サービス)名	整備水準	H18(現状)	H19(実績)
文化活動学校開放の開放教室数	24教室(H22)	21教室	21教室

成果指標等の動向

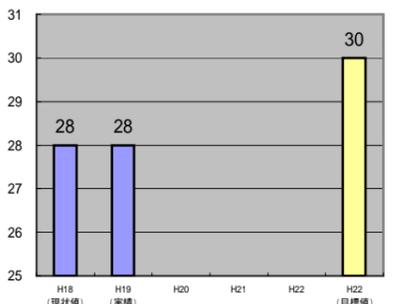
主要文化芸術施設の利用者数(単位:万人)



市内主要イベントの観客者数(単位:万人)



主要文化財施設の利用者数(単位:万人)



文化芸術に関するボランティア数(単位:人)

